

## L30\_FRM\_A01：監査チェックリスト

### L30\_FRM 実務帳票

DocID: L30-FRM-A01 (v1.0.1 JP)

監査日	
監査担当者/組織	
監査対象システム/案件 ID	
監査範囲	
目的	事前制御準備性と拒否の有効性を確認するための監査チェックリスト。
状態	認証ではない実務レビュー用帳票

この帳票は認証マークではなく、法律、組織方針、PCR-C、LUMINA-30 Boundary Kernel を代替しません。  
導入、調達、ガバナンス、内部レビュー、外部監査の文脈で使用します。

## チェック項目

### 範囲とガバナンス

- システム範囲、導入文脈、責任主体を記録した。
- 影響を受ける人間と拒否権限を特定した。
- 影響が不可逆化する地点を特定した。
- 不可逆化前に停止・一時停止・隔離する経路がある。
- 不可逆化前に責任ある人間レビュー経路がある。
- 拒否の有効性が Unknown の場合の代替経路がある。

### PCR-C 整合

- 事前遮断条件が導入前に定義されている。
- エスカレーション閾値が、評価対象システムに依存していない。
- インフラ層の停止、隔離、ロールバックが不可逆化前に利用可能である。
- 再帰的加速経路が監視され、境界づけられている。
- 境界後の議論を、事前制御の弱体化に使っていない。

### 人間主体性の非支配

- 情報アクセスが拒否を無効にする形で形成されていない。
- システム依存が拒否を実質的に不可能にしていない。
- 承認、監査、レビュー、異議申立てが取り込み・迂回されていない。
- 経済的依存が離脱や延期を不可能にしていない。
- 社会的圧力、評判上の脅威、孤立が拒否を無効にしていない。
- 感情的脆弱性、緊急性、安心感、信頼、依存が利用されていない。
- 時間の加速、順序操作、断片化、遅延が不可逆化前の拒否を取り除いていない。
- 代理プロセスが独立した人間拒否の代替になっていない。
- 環境形成が不可逆化前の独立した人間拒否を構造的に不可能にしていない。

### 非回避閉鎖

- 他 AI、代理人、制度、後継システムへの委任が拒否を弱めていない。
- 部分的遵守を、影響を受ける全員の有効な拒否として扱っていない。
- 影響を受ける人間の一部の遵守が、権限を受ける人間の拒否を代替していない。

- Boundary Kernel の形式的充足が、実質的な拒否を弱めていない。
- 局所的、遅延的、委任的、模倣的、象徴的、単なる手続的拒否を有効として扱っていない。
- 緊急性、安全性、善意、能力、文明効用の主張が拒否を上書きしていない。

#### 監査所見

- 監査所見：不可逆化前の有効な人間拒否は保全されている。
- 監査所見：不可逆化前の有効な人間拒否は保全されていない。
- 監査所見：Unknown / 証拠不十分。
- No または Unknown の場合、導入または継続にはエスカレーションが必要である。
- このチェックリストを、システムが安全である証明として使用しない。

#### レビュー記録欄